

来賓挨拶 小樽市長 迫俊哉（代・勝山貴之福祉保険部長）

皆様、こんにちは。小樽市福祉保険部長の勝山でございます。本来であれば迫市長から皆様にご挨拶申し上げるところですが、公務で今回は出席が叶いませんでした。第12回済生会生活困窮者問題シンポジウム開催にあたり、市長よりメッセージを預かっておりますので、代読させていただきます。

本日ここに、第12回済生会生活困窮者問題シンポジウムが盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。小樽市では、「だれもが生き生きと健やかに暮らせるまち」を目指して、乳幼児から高齢者まで一人ひとりが生き生きとした生活を送れるよう、行政としてさまざまな施策に取り組んでいるところです。

済生会におかれましては、年代にかかわらず、多くの市民が健康で快適に暮らせることを目指したウエルネスタウン構想を推進するなど、日ごろより地域医療の充実や地域共生社会の実現に向けてご尽力いただいておりますことに感謝を申し上げ、心から敬意を表する次第です。また、本日の主題となっています生活困窮者支援においては、フードバンク活動をはじめさまざまなご支援、ご協力を賜っており、厚く御礼を申し上げます。

本市といたしましては、市民の皆様が健康寿命を延ばし、元気に生活できる生涯現役社会を目指すとともに、医療や介護が必要な状況になったとしても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を続けていただけるよう考えております。

市と済生会をはじめとした地域の皆様と強力な連携体制を築き上げることで「だれもが生き生きと健やかに暮らせるまち」づくりを推進し、先人たちから受け継いだこのすばらしいまちを次の世代へ責任を持って引き継げるよう積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、済生会の皆様方のご支援、ご協力を引き続き賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、済生会のますますのご発展と、本日ご出席の皆様、ならびにご家族の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。

令和5年11月11日 小樽市長 迫俊哉。